

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ スズキ ヨシノリ 氏 名 鈴木 寿 則	職 名 教授 人間学部健康栄養学科	取 得 学 位 博士 (医学) (大学名) 東北大学 (取得年月) 2005 年 3 月 25 日
-----------------------------	----------------------	--

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
<p>① 教育内容・方法の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教養共通科目「消費生活論」の教育実践 ・教養共通科目「環境科学」の教育実践 ・教養共通科目「健康科学」の教育実践 ・管理栄養士国家試験受験資格の指定科目「公衆衛生学」の教育実践 ・管理栄養士国家試験受験資格の指定科目「健康管理概論」の教育実践 ・管理栄養士国家試験受験資格の指定科目「社会保障論（2017 年度より現科目名に変更）」の教育実践 ・食品衛生管理者及び食品衛生監視員資格（任用資格）の指定科目「公衆衛生学」の教育実践 ・食品衛生管理者及び食品衛生監視員資格（任用資格）の指定科目「衛生法規（2017 年度より現科目名に変更）」の教育実践 ・保育士資格の指定科目「社会福祉学」の教育実践 	<p>2023 年-現在</p> <p>2022 年-現在</p> <p>2022 年-現在</p> <p>2010 年-現在</p> <p>2010 年-現在</p> <p>2010 年-現在</p> <p>2010 年-現在</p> <p>2010 年-現在</p> <p>2012 年-現在</p>	<p>人間学部学生を対象として、民法の条文解釈および判例を中心とし現在の消費者としての権利について授業を行った。</p> <p>人間学部学生を対象として、環境問題および環境保健を中心とした授業を行った。</p> <p>人間学部学生を対象として、医学概論を中心とした授業を行った。</p> <p>健康栄養学科の学生を対象として、教科書を中心に板書による講義を行い、学生の授業評価を基に毎年それぞれの課題に対する改善を行っている。</p> <p>健康栄養学科の学生を対象として、教科書を中心に板書による講義を行い、学生の授業評価を基に毎年それぞれの課題に対する改善を行っている。</p> <p>健康栄養学科の学生を対象として、教科書を中心に板書による講義を行い、学生の授業評価を基に毎年それぞれの課題に対する改善を行っている。</p> <p>(上記「公衆衛生学」と同上)</p> <p>健康栄養学科の学生を対象として授業を行った。</p> <p>教科書を中心に板書による講義を行い、学生の授業評価を基に毎年それぞれの課題に対する改善を行っている。</p> <p>人間発達学科の学生を対象として授業を行った。なお健康栄養学科および</p>

<p>・社会福祉士国家試験受験資格の指定科目「社会保障論Ⅰ」の教育実践</p>	<p>2017-2019年</p>	<p>グローバル・スタディーズ学科の学生は共通科目とし授業を行った。教科書を中心に板書による講義を行い、学生の授業評価を基に毎年それぞれの課題に対する改善を行っている。</p>
<p>・社会福祉士国家試験受験資格の指定科目「社会保障論Ⅱ」の教育実践</p>	<p>2017-2019年</p>	<p>心理福祉学科の学生を対象として授業を行った。教科書を中心に板書による講義を行い、学生の授業評価を基に毎年それぞれの課題に対する改善を2019年度まで行った。</p>
<p>・介護福祉士国家試験受験資格の指定科目「社会保障論Ⅰ」の教育実践</p>	<p>2017-2019年</p>	<p>心理福祉学科の学生を対象として授業を行った。教科書を中心に板書による講義を行い、学生の授業評価を基に毎年それぞれの課題に対する改善を2019年度まで行った。 (上記「社会保障論Ⅰ」と同上)</p>
<p>②作成した教科書、教材、参考書</p>		
<p>・『衛生・公衆衛生学 2023』(第3章および第9章を執筆)</p>	<p>2023年3月</p>	<p>衛生法規(第3章)と地域保健(第9章)について解説した。</p>
<p>・『新・社会福祉士シリーズ12 社会保障』(第7章を執筆)</p>	<p>2023年3月</p>	<p>わが国の医療保険制度の現状と課題について解説した。</p>
<p>・『衛生・公衆衛生学 2022』(第3章および第8章を執筆)</p>	<p>2022年3月</p>	<p>法令について加筆・修正をして解説するとともに、市町村における保健活動についてのアプローチについて詳細に述べた。</p>
<p>・『健康・栄養科学シリーズ 社会・環境と健康 2022-2023 改訂第7版』(第9章を執筆)</p>	<p>2021年4月</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、保健所の役割および機能について述べ、市町村の保健活動について解説した。</p>
<p>・『Active Aging 健康管理学－予防医学の視点から－』(第3章を執筆)</p>	<p>2021年3月</p>	<p>疫学について初心者でも理解しやすいように加筆修正を行い、健康危機管理としての新型コロナウイルス対策について加筆した。</p>
<p>・『衛生・公衆衛生学 2021』(第3章および第9章を執筆)</p>	<p>2020年3月</p>	<p>平成30年度の管理栄養士養成コア・カリキュラムに内容を沿わせ、第3章の法規では直近改正の内容を盛り込み、第9章の地域保健では新型コロナウイルスに対する地域保健の現状および役割について加筆した。</p>
<p>・『健康・栄養科学シリーズ 社会・環境と健康 改訂第6版』(第9章を執筆)</p>	<p>2020年3月</p>	<p>平成30年度の管理栄養士養成コア・カリキュラムに内容を沿わせ、地域保健における保健所および市町村保健センターの役割について解説した。</p>
<p>・『衛生・公衆衛生学 2020』(第3章および第9章を執筆)</p>	<p>2019年3月</p>	<p>平成30年度の管理栄養士養成コア・カリキュラムに内容を沿わせ、関連法</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・『Active Aging 健康管理学』（中国語翻訳・出版） ・日本栄養改善学会「平成 30 年度管理栄養士専門分野別人材育成事業（コア・カリキュラム検討事業）「教育養成領域での人材育成」報告書」（「B 社会と栄養」を担当） ・『衛生・公衆衛生学 2019』（第 3 章および第 9 章を執筆） ・『社会保障 第 6 版』（第 4 章を執筆） ・『衛生・公衆衛生学 2018』（第 3 章および第 9 章を執筆） ・『Active Aging 健康管理学』（第 3 章を執筆） ・『社会保障 第 5 版』（第 4 章を執筆） 	<p>2019 年 3 月</p> <p>2019 年 2 月</p> <p>2018 年 3 月</p> <p>2017 年 4 月</p> <p>2017 年 3 月</p> <p>2017 年 3 月</p> <p>2016 年 3 月</p>	<p>規については直近改正の内容を盛り込み、地域保健では健康危機管理等について加筆した。</p> <p>2017 年 4 月に発行した『Active Aging 健康管理学』を中国語に翻訳し科学出版社（北京）より発行した。</p> <p>管理栄養士養成施設におけるカリキュラムの在り方及び内容等について委員として検討・執筆し、今後の管理栄養士養成に係るカリキュラムの在り方について報告書として発表した。</p> <p>関連法規については直近改正の内容を盛り込み、地域保健についてはデータヘルス計画等について加筆した。</p> <p>わが国の医療保険制度を概説するとともに、直近の医療制度改革及び地域包括ケアシステム等を加筆した。</p> <p>公衆衛生関連法規として、新たに公的年金制度および社会保障制度に関する改正法を追加し、福祉・介護関連法規についても記した。</p> <p>わが国の健康づくり施策、健康づくりと予防医学の考え方、スクリーニングや健康教育、疫学の目的とデザインについて概説した。</p> <p>わが国の医療保険制度を概説するとともに医療、介護に関連する社会保険制度、公衆衛生の制度についても記した。</p>
---	---	---

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
【2022 (令和 4) 年度】						
・『衛生・公衆衛生学 2023』	共	2023 年 3 月	アイ・ケイコーポレーション		山本玲子	25-37、 140-145
・『新・社会福祉士シリーズ 12 社会保障』	共	2023 年 3 月	弘文堂		阿部裕二・熊沢由美	113-140

・データから見たみやぎの健康 概要版 – 令和 3 年度版 –	単	2022 年 6 月	宮城県保健福祉部			p.1-161
・データから見たみやぎの健康 概要版 – 令和 3 年度版 –	単	2022 年 6 月	宮城県保健福祉部			p.1-18
【2021 (令和 3) 年度】						
・『衛生・公衆衛生学 2022』(第 3 章および第 8 章を執筆)	共	2022 年 3 月	アイ・ケイコーポレーション		山本玲子	p.25-36 p.140-145
・『健康・栄養科学シリーズ 社会・環境と健康 2022-2023 改訂第 7 版』(第 9 章を執筆)	共	2022 年 3 月	南江堂		辻一郎・吉池信男	p.249-257
・『Active Aging 健康管理学 – 予防医学の視点から –』(第 3 章を執筆)	共	2021 年 4 月	八千代出版		岡田悦政	p.26-42
【2020 (令和 2) 年度】						
・『衛生・公衆衛生学 2021』(第 3 章および第 9 章を執筆)	共	2021 年 3 月	アイ・ケイコーポレーション		山本玲子	p.25-36 p.140-145
・保健・医療・介護保険等データ活用による医療費分析事業(第 2 章「令和 2 年度 大分県の国民健康保険における医療受診分析」を執筆)	共	2021 年 3 月	大分県福祉保健部国保医療課			p.5-20
・保健・医療・介護保険等データ活用による医療費分析事業(第 3 章「医療受診率の経年変化」を執筆)	共	2021 年 3 月	大分県福祉保健部国保医療課			p.21-30
・保健・医療・介護保険等データ活用による医療費分析事業(第 6 章「人口知能(AI)による脳血管疾患発症リスク分析」)	共	2021 年 3 月	大分県福祉保健部国保医療課	NEC		p.66-76

<p>【2019（令和元）年度】</p> <p>・宮城県市町村における糖尿病および合併症の医療費分析</p> <p>・『衛生・公衆衛生学 2020（第3章および第9章を執筆）』</p> <p>・『健康・栄養科学シリーズ 社会・環境と健康 改訂第6版』（第9章を執筆）</p> <p>・保健・医療・介護保険等データ活用による医療費分析事業（第2章「令和元年度 医療受診分析」を執筆）</p> <p>・保健・医療・介護保険等データ活用による医療費分析事業（第3章「医療受診率の経年変化」を執筆）</p> <p>・保健・医療・介護保険等データ活用による医療費分析事業（第5章「人工知能（AI）による虚血性心疾患リスク分析」</p> <p>・大分県の産・官・学連携による保健・医療・介護保険等データ活用による医療費分析事業</p> <p>【2018（平成30）年度】</p> <p>・産・官・学連携保健・医療・介護保険等データ活用による医療費分析事業（第2章「平成30年度 大分県の国民健康保険における医療受診分析」を執筆）</p> <p>・産・官・学連携保健・医療・介護保険等データ活用による医療費分析事業（第3章「平成30年度 大分県における介護・健診・医療の地域相関分析」を執</p>	<p>単</p> <p>共</p>	<p>2020年3月</p> <p>2020年3月</p> <p>2020年3月</p> <p>2020年3月</p> <p>2020年3月</p> <p>2020年3月</p> <p>2020年3月</p> <p>2019年10月</p> <p>2019年3月</p> <p>2019年3月</p>	<p>仙台白百合女子大学紀要 24号</p> <p>アイ・ケイコーポレーション</p> <p>南江堂</p> <p>大分県保険者協議会</p> <p>大分県保険者協議会</p> <p>大分県保険者協議会</p> <p>第78回日本公衆衛生学会総会</p> <p>大分県福祉保健部国保医療課</p> <p>大分県福祉保健部国保医療課</p>	<p>NEC</p>	<p>山本玲子</p> <p>辻一郎・吉池信男</p>	<p>p.69-82</p> <p>p.25-36</p> <p>p.140-145</p> <p>p.248-251</p> <p>p.5-20</p> <p>p.21-30</p> <p>p.39-51</p> <p>抄録集 546</p> <p>p.5-20</p> <p>p.21-34</p>
---	---	--	---	------------	-----------------------------	---

筆) ・産・官・学連携保健・医療・介護保険等データ活用による医療費分析事業（第 9 章「異種混合学習（人工知能：AI）による 2 型糖尿病重症化の要因分析」)	共	2019 年 3 月	大分県福祉保健部国保医療課	NEC		p.78-85
・平成 3 0 年度管理栄養士専門分野別人材育成事業（コア・カリキュラム検討事業）「教育養成領域での人材育成」報告書（主に「B 社会と栄養」を担当）	共	2019 年 3 月	日本栄養改善学会			p.1-111
・『衛生・公衆衛生学 社会や環境のシステムと健康の関わり（2018 年版）』（分担執筆：第 3 章および第 9 章）	共	2018 年 3 月	アイ・ケイ コーポレーション		山本玲子	p.26-37 p.140-145
【2017（平成 29）年度】						
・『社会保障 第 5 版』（第 4 章を執筆）	共	2017 年 3 月	弘文堂		阿部祐二	p.81-109
・『衛生・公衆衛生学 社会や環境のシステムと健康の関わり（2017 年版）』（第 3 章および第 9 章）	共	2017 年 3 月	アイ・ケイ コーポレーション		山本玲子	p.25-36 p.141-146
・『Active Aging 健康管理学』（第 3 章を執筆）	共	2017 年 3 月	八千代出版		岡田悦政	p.17-54

翻訳

翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監訳書の場合)	該当頁数
(なし)						

学術研究発表

発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所
・生活習慣病の既往がない者における食事パターンと受診行動および医療費の関連	2022 年 10 月	第 81 回日本公衆衛生学会総会
・災害時要援護精神障害者への支援の必要量の推計と推計方法の検討	2022 年 10 月	第 81 回日本公衆衛生学会総会

・大分県の産・官・学連携による保健・医療・介護保険等データ活用による医療費分析事業	2019年10月	第78回日本公衆衛生学会総会
・宮城県富谷市における脳血管疾患の発症・重症化予防にむけた産官学の取り組み	2017年10月	第76回日本公衆衛生学会総会

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
・日本公衆衛生学会		2001年(現在に至る)
・日本疫学会		2001年(現在に至る)
・宮城県公衆衛生学会		2010年(現在に至る)

III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度(西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額(円)
基盤研究(C)(一般)	2023年	高齢者看護学および地域看護学関連	都市型準限界集落等地域のソーシャルキャピタル醸成推進プログラム開発と社会実装研究	
宮城県	2022年	集計分析	令和4年度みやぎのデータヘルス推進事業集計・分析業務	
基盤研究(C)(一般)	2022年	高齢者看護学および地域看護学関連	都市型準限界集落等地域のソーシャルキャピタル醸成推進プログラム開発と社会実装研究	
宮城県	2021年	集計分析	令和3年度みやぎのデータヘルス推進事業集計・分析業務	
NEC	2020年	共同研究	医療費適正化に向けたデータ分析についての共同研究	
大分県	2020年	分析	令和2年度産・官・学連携保健・医療・介護保険等データ活用による医療費分析事業	
宮城県	2020年	集計分析	令和2年度みやぎのデータヘルス推進事業集計・分析業務	

NEC	2019年	共同研究	宮城県富谷市及び大分県の医療費適正化に向けたデータ分析についての共同研究	
大分県保険者協議会	2019年	分析	令和元年度 保健・医療・介護保険等データ活用による医療費分析事業	
宮城県	2019年	集計分析	令和元年度みやぎのデータヘルス推進事業データ集計・分析業務	
NEC	2018年	共同研究	宮城県富谷市及び大分県の医療費適正化に向けたデータ分析についての共同研究	
大分県	2018年	分析	産・官・学連携保健・医療・介護保険等データ活用による医療費分析事業	
宮城県	2018年	集計分析	平成30年度みやぎのデータヘルス推進事業データ集計・分析業務	
NEC	2017年	共同研究	宮城県富谷市の医療費適正化に向けたデータ分析についての共同研究	

3. 特記事項

【委員等】

- ・厚生労働省 管理栄養士国家試験委員（2021（令和3）年、2021（令和4）年）
- ・警察共済組合宮城県支部 健康管理アドバイザー（2020（令和2）年～）
- ・富谷市健康づくり推進協議会委員（2018（平成30）年6月～）
- ・全国健康保険協会宮城支部 健康づくり推進協議会委員（2014（平成26）年6月～）
- ・国民健康保険中央会 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員（2017（平成29）5月～2021（令和3）年4月）
- ・北海道国民健康保険団体連合会 保険事業支援・評価委員会ワーキンググループ（2018（平成30）年4月～2021（令和3）年3月）